

## 用語解説（50音順）

頭	用語	説明
あ	アップサイクル	本来は捨てられるはずの製品に新たな価値を与えて再生すること。
あ	アドプト	道路や公園等公共施設の一部区域の維持管理について市で行っていたものを、市民団体や企業等の団体が「里親」となり、「養子」となった施設の一部区域を団体が責任をもって維持管理を行っていく制度。
あ	空き家バンク	空家等を売りたいまたは貸したい所有者が空き家バンクへ空家等を登録し、空き家バンクを閲覧した空家等を買いたい、または借りたい人が希望物件あれば購入や賃貸ができるといった制度。
あ	RPA（アールピーイー、Robotic Process Automation）	人が行う定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するものごと。
い	Instagram（インスタグラム）	写真や動画を中心とするSNS。
う	WEBQU（ウェブキューユー）	教員が児童生徒の状態を多角的に知ることができるアンケートツール。
え	エコセメント	都市ごみを焼却した際に発生する灰を主な原料とするセメント。
え	AI（イーアイ、Artificial Intelligence）	人工知能のこと。
え	AI-OCR（イーアイオーシーアール）	手書きの書類や帳票の読み取りを行い、データ化するOCRにAI技術を組み合わせた処理。
え	A I ボイス筆談機	話した内容を文字化し、筆談が可能となる機械。
え	SNS（エスエヌエス、Social Networking Service）	Web上で社会的ネットワークを構築可能にするサービスのこと。
え	X（エックス）	文字や写真・動画を中心に投稿するSNS。140字の文字数制限がある。令和5年に名称がTwitterからXへ変更された。
え	L G B T Q +	セクシュアルマイノリティ（性的少数者）の総称のひとつであり、セクシュアルマイノリティ（性的少数者）を代表するレズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、クエスチョニングの5つの頭文字を取った言葉に、「+（プラスアルファ）」を付けた通称。
お	オープンデータ	行政が保有しているデータを、機械判読に適したデータ形式で、二次利用が可能な利用ルールにより公開すること。
か	カタログポケット	インターネット上の広報紙閲覧サービス。広報紙が電子ブック化されることにより、記事内文章がポップアップで拡大表示されるほか、音声読み上げ機能、多言語自動翻訳等の機能が利用できる。
か	ガバメントクラウドファンディング	ガバメントクラウドファンディングとは、ふるさと納税制度を活用し、政府（自治体）が行う寄附制度であり、地域の問題解決に向けたプロジェクトに共感した人々から寄附を募る仕組み。
か	かわまちづくり計画	多摩川を中心とした「かわ」と「まち」が有する様々な資源や魅力を活かし、市外から集う新たな人の流れと賑わいを創出しながらも、市民と来訪者の双方に親しまれる「かわまちづくり」の実現を目指すものであり、国、市、市民等の参加と協働による取組を示す計画。令和6年3月策定。
き	キッズゾーン	保育所等が行う散歩等の園外活動の安全を確保するために、車両の運転者に対して注意を喚起することを目的として設定した道路の区域をいい、区市町村が警察と連携して整備を進めています。
き	共助	災害時に地域の方々と消火活動を行うなど、周りの人々と助け合うこと。
き	GAP（ギャップ）手法	農業生産工程管理（Good Agricultural Practice）のこと。生産工程の適切な管理により、基準値以上の農薬残留、異物混入、病原微生物付着等のリスクを回避し、農産物の安全性をより向上させることができる。
き	キャリアデザイン	将来のなりたい姿ややりたい自分を表現するために、職業人生を主体的に設計し、実現していくこと。
く	グリーンインフラ	自然環境が有する機能を社会における様々な課題解決に活用しようとする考え方。
く	クラウドファンディング	群衆（crowd）と資金調達（funding）を組合せた言葉。インターネットを通じて、プロジェクトに賛同した支援者から広く少額ずつ資金を調達すること。
け	経常収支比率	人件費、扶助費、公債費等の経常的な支出に充当された市税や普通交付税等の経常的な収入の比率。財政構造の弾力性を表し、高いほど財政が硬直化していることを示す。
こ	コマラジ	地域情報の発信基地となり、住みやすい粕江、安全な粕江、を実現する粕江の為にコミュニティーFM。
こ	こども家庭センター	全ての妊産婦、子育て世帯、こどもへ一体的に相談支援を行う機能を有する機関。
こ	こども誰でも通園制度（仮称）	月一定時間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる新たな通園給付
こ	粕江ブランド農産物	粕江市独自の生産工程管理手法により「統一した粕江オリジナルのチェックリスト」を使い、各生産工程において項目を一つ一つしっかりと確認・管理をしているため安心・安全でおいしいことが特徴です。シールが貼付されている。
こ	粕江まちみらいラボ	粕江駅前の「ほこみち」や、地域DXに取り組む粕江市のまちづくり会社。
こ	コンプライアンス	法令遵守。企業や個人が法令や規則、社会的ルールを守ること。

頭	用語	説明
さ	財政調整基金	経済状況等により変動する市の収入に対応して、あらかじめ積み立てておくことによって市の財政状況の変化に対応し、安定した財政運営ができるようにする基金のこと。
し	自助	家庭で日頃から災害に備えたり、災害時には事前に避難したりするなど、自分で守ること。
し	自転車ナビマーク・ナビライン	自転車の安全な通行を促すため、自転車が通行すべき部分及び進行すべき方向を明示するもの。主として車道の左側端に「自転車ナビマーク」、交差点に「自転車ナビライン」の設置されている。
し	GX（グリーントランスフォーメーション）	温室効果ガスの排出抑制を目的と市、化石エネルギー中心の産業・社会構造を、再生可能エネルギー中心の産業構造に転換していく取組のこと。
し	ジェンダーギャップ指数	世界経済フォーラムが、経済、教育、健康、政治の分野毎に各使用データをウエイト付けし、0の完全不平等から1の完全平等を上限として算出している指数。
し	シビックプライド	地域や自治体に対する住民の誇りや愛着を持ち、地域社会に貢献する意識のこと。
し	市民活動支援センター（こまえくぼ1234）	市民と行政による参加と協働のまちづくりを推進し、より良い市民生活のために、地域の課題に取り組みたい個人と団体を支援することを目的として設置されたもの。誰もが市民活動に参加できるような環境を整え、市民が主体となる市民活動の文化を創っていく事業を行う。
し	市民農園	市民が自然とふれあい、農業に対する理解を深めることを目的で設けられた農園。
し	情報公開制度	何人にも知る権利とそれに基づく公開を求める権利を保障し、市政に関する説明責任を果たすことを目的として、市の機関が保有する情報を公開するための制度。
し	情報提供制度	情報公開請求がされた場合に明らかに全部公開となるような行政文書について、情報公開請求の手続きを行わずに、閲覧や写しを入手することができる制度。
す	3D都市モデル	都市空間に存在する建物や街路といったオブジェクトに、名称や用途といった都市活動情報を付与することで、都市空間そのものを再現する3D都市空間情報プラットフォーム。
す	スケアード・ストレイト方式の交通安全教室	怖い思い、ヒヤとする体験を通じて啓発効果を高めるために実際の交通事故を再現したスタントを目の当たりにし、事故の危険性などを学ぶこと。
す	ストックマネジメント	施設の機能診断に基づく機能保全対策の実施を通じて、既存施設の有効活用や長寿命化を図り、LCC（ライフサイクルコスト）を低減するための技術体系及び管理手法。
せ	税外収入	租税及び公債発行収入金以外の収入。
せ	生産緑地	市街化区域内の農地等のうち、良好な都市環境を確保するための都市計画上の制度（生産緑地制度）により指定された農地。
ち	地区まちづくり協議会	地区の市民等は、その地区の特性にあった基準、ルールの導入、その地区のまちづくりに関する目標、その地区の土地利用に関する事項を定めることを目的に、地区まちづくり協議会として認定を申請することができます。申請の後、まちづくり委員会に申請内容等について意見を聴いた上で、市が定める要件に該当する場合は、地区まちづくり協議会として認定をします。自治会や町会等の住んでいる場所等の土地に関連して集まるコミュニティ。
ち	地縁型コミュニティ	自治会や町会等の住んでいる場所等の土地に関連して集まるコミュニティ。
ち	地方税統一QRコード	納税者の利便性を向上等を目的とした、地方税の納付書に付される統一規格のQRコードのこと。
て	DX（デジタルトランスフォーメーション）	ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。
て	DX（ディー・エックス、デジタルトランスフォーメーション）	ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること。
て	デジタルデバイド	インターネットやパソコン等の情報通信技術を使える人と使えない人の間に発生する、情報格差。
て	テーマ型コミュニティ	共通の課題等のテーマによって集まるコミュニティ。
と	特別緑地保全地区	都市における良好な自然的環境を保全するために、都市緑地法の規定に基づき指定された緑地。
ひ	ヒートアイランド現象	都市の気温が周囲よりも高くなる現象。
ひ	ビッグデータ	膨大かつ多様で複雑なデータのこと。
ふ	フェーズフリー	普段身の回りにあるモノやサービスを「日常時」と「非常時」というフェーズ（社会の状態）からフリーにして、いつもとも関わらず生活の質を向上させ、私たちの生活や命を守ってくれるものにしていくという考え方。
ふ	フォロー/フォロワー	Xにおいて、アカウントをお気に入り登録することをフォローといい、フォローしている人のことをフォロワーという。
ふ	フレイル	健康な状態と要介護状態の中間の段階。
ふ	フロントヤード	デジタル技術を取り入れながら住民と行政との接点（フロントヤード）を多様化・充実化していくことで、住民の利便性を向上させる取組。
ま	マイクロプラスチック	微細なプラスチックごみの総称で、5ミリメートル以下のもの。
み	未来戦略会議	中長期的な視点に立った施策等の立案及び市政運営上の課題を解決するため、市長を座長として、これからの泊江市役所を担う係長や主査、主任級の中堅・若手の職員で構成する庁内の検討チーム。
も	モバイル市役所	行政手続きの電子化の推進等により市民が場所・時間に捉われず、簡単に行政手続きやサービスの申請・問い合わせができる行政サービスシステムを構築し、職員の働き方改革・施設のあり方の見直しを行うことで達成されるもの、地域社会のDX化を目指す。
や	ヤングケアラー	家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者
ゆ	ユニバーサルデザイン	年齢や性別、障がいの有無などに関係なく、誰もが使いやすいように考えていくこと。

頭	用語	説明
よ	4 R (リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)	4Rとは、リフューズ (Refuse) 、リデュース (Reduce) 、リユース (Reuse) 、リサイクル (Recycle) 、という、頭文字に「R」の付いた4つの言葉の総称。 リフューズとは、不要なものはあらかじめ受け取りを断り、もらわないこと。 リデュースとは、無駄なごみを減らすこと。 リユースとは、一度使ったものを繰り返し使うこと。 リサイクルとは、使い終わったものを資源として再利用すること。
ら	ライフサイクルコスト(LCC)	製品や構造物 (建物や橋、道路など) が作られてから、その役割を終えるまでにかかる費用のこと。
り	緑視率	視界に占める緑の割合のこと。
り	RESAS (リーサス)	地域経済分析システム。経済産業省及び内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局が提供する人口動態、産業構造、観光に関する人の流れ等のビッグデータを地図やグラフで分かりやすく「見える化」しているシステムのこと。
れ	レジリエント (強靱) なまち	自然災害の被害にも耐えられる強靱なまちのこと。
れ	連結負債残高	一般会計や特別会計に加え、一部事務組合・広域連合及び地方公社・第三セクター等を連結した負債の残高のこと。
ろ	ローリングストック	普段の食品を少し多めに買い置きしておき、賞味期限を考えて古いものから消費し、消費した分を買い足すことで、常に一定量の食品が家庭で備蓄されている状態を保つための方法。
わ	ワンウェイプラスチック	一度だけ使われて廃棄されるプラスチック製品のこと。
わ	ワークライフバランス	仕事と生活のバランスがとれた状態のこと。
わ	ワンストップサービス	分散していた手続きやサービスを1つの場所で提供できるようにするもの。